



《北海道 今月のイベント》 函館八幡宮例大祭 (8月 函館市)

一函館山の麓に鎮座する函館八幡宮は、1445(文安2)年創建、明治13年から現在地に。境内から津軽海峡が望める景勝の地にあり、「八幡様」と市民に親しまれている函館八幡宮の例大祭。2年に一度、偶数年に行われる神輿渡御が見もの。130段あまりの「石段かけのぼり」は力強く迫力満点。
(函館市公式WEBサイト「函館イベントガイド」より抜粋)

INDEX

3 印刷燦燦

4~8 令和元年度上期北海道地区印刷協議会

9 令和元年度第3回理事会

10 HOPE2019 開会あいさつ

11 HOPE2019 開催案内

12 HOPE2019 パネルディスカッション案内

13 HOPE2019 セミナー案内(9月6日)

14 HOPE2019 トークショー案内

15 HOPE2019 セミナー案内(9月7日)

16 HOPE2019 会場案内図

17・18 HOPE2019 出展一覧

19~22 紙上暑中見舞名刺交歓

北海道印刷工業組合

〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル

TEL.011-595-8071 / FAX.011-595-8072

[Website] <http://www.print.or.jp> [E-mail] info@print.or.jp



P-00023

この印刷物は、CSRに取り組み印刷会社が製作した印刷物です。

印刷 燦 燦

解決する力と創造力

東進ハイスクールの林先生が考える仕事ができる人の条件は「解決する力と創造力」この2つだそうです。

高学歴なのに仕事で優遇されることもなく、思ったような人生が送れていないと世の中の理不尽さを嘆くニートからは、「できる人とできない人の差はどこにあるのか?」という質問に対して林先生は、「社会で働くようになると、たくさん問題を解かなくてはならない。テレビの仕事なら視聴率をどう上げるか、予備校講師ならどうやって受講者を増やすのか。そんな時に要求されるのは、『解決する力と創造力』この2つ。どちらかの能力を持っていれば“できる人”と評価される。学歴は関係ない」と言っています。さらに、高卒ながらも想像力を武器に不況といわれるアパレル業界で新しいビジネスモデルを作り成功したZOZOTOWN前澤社長の譬えを挙げています。

これらの能力を高めるのに必要なのは「考える力」。

考えて物事を解決したり、考えて物事を創り出す能力は、どんな人でも高くする必要があります。では、「考える力」はどうやったら身につくのでしょうか。

それは読書をすることで、考えるためのヒントを得ることができるそうです。また、自分が悩んでいることの答えを本が既に出してくれている場合もあります。

中でもオススメは歴史書で勝った人ではなく負ける人に注目すると、負ける人物には、情報不足・慢心・思い込みという3つの共通点があり、これらに注目して読むと面白いそうです。

「解決する力と創造力」は、情報量の多さではないかと考えます。いろいろな情報を組み合わせ、考えをまとめ、物事を解決したり創り出すことができるのではないのでしょうか。ネットなどで簡単に情報を得ることができる今の時代では、正しい情報を見極める必要があります。その点、本や新聞などは、絶対とは言いませんが正しい情報が手に入るのではないのでしょうか。正しい情報は、タダではないということですね。

北海道印刷工業組合副理事長・教育研修委員長 **西山 真**
大輝印刷株式会社 代表取締役

組合は、自助を促進させるための事業を行い、公助の役割を果たす

令和元年度上期北海道地区印刷協議会

令和元年度上期北海道地区印刷協議会が、7月5日午後2時から札幌市中央区のガーデンシティ札幌駅前で、全日本印刷工業組合連合会から作道孝行副会長、池尻淳一専務理事、池田幸寛常務理事、白橋明夫常務理事を迎え、組合員・賛助会員35人が出席して、全体会議、委員会、総括会議の3部構成で開催された。

全体会議



岸 昌洋
北印工組 理事長

最 初に、岸理事長があいさつに立ち、令和元年事業計画基本方針について、「今までの組合は、その時代背景から共助するための組織と仕組みであったと考える。悪く言えば馴れ合いであり、高度経済成長下において同質競争を繰り広げてき

た。しかし、現代の印刷産業は、今までの装置産業としてのビジネスモデルが通用しなくなった。しかし、我々はこれからも社会に信頼され、世の中に必要とされ、経済活動のエンジンとして今後も事業を継続させなくてはならない。

これからの組合のかたちは、自助を促進させるための事業を行い時代に即す、または先取りすることをベースに運営しなければならない。そして、1社単独では変えられないことを組織として改革するための公助の役割を果たすべきと考える。

全印工連では、全国の組合員の力を結集して組合員企業が持続的な発展を遂げられるよう『Happy Industry～人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業』をテーマに掲げ、各種の事業メニューを用意している。

各種委員会活動も一層積極的に推進しており、北印工組として令和元年度では、先ず、これらさまざまな事業を組合員の皆さんに知っていただき、利用いただくことによって、皆さんがメリットを享受できることを目指す。北海道地区印刷協議会は、事業の詳細を伝える場である。一人でも多くの皆さんに理解いただき、各社の持続的な発展・繁栄のための糧としていただきたい。

今年は、分かっているだけでもさまざまな変化が起こる。4月からは働き方改革関連法が順次施行され、法令を遵守した対応が迫られている。元号も変わり、10月には消費税増税が予定されている。

我々印刷業界においては、主要原材料である用紙やインキの価格改定や配送料の値上げが行われている。各社の経営に大きな影響を及ぼすことが懸念される。印刷物だけがいつまでも値崩れし続け、デフレ状態のままでも良い訳がない。お客様への早目の予算化や値

上げ交渉など、スピーディーな対応が必要となる。

理事長の職責として、組合員の皆さんへ『より有益』な情報をスムーズに流れるように努めていく」と説明し、「本日は忙しいなかこのような設営をさせていただいたので、委員会活動の理解を深めていただきたい」と述べた。



作道孝行
全印工組 副会長

次に、作道全印工連副会長が、「令和の幕開けとともに、日本国内においては、G20サミット、参議院議員選挙、ラグビーワールドカップ日本大会、消費税増税、そして、来年に迫った東京オリンピック・パラリンピックの開催など、次々と大きな変化の波が押し寄せる。私達はこれをチャンスと捉え、大胆に動き、大きな追い風へとつなげなくてはならない。

本年度、全印工連では、ブランドスローガン『Happy Industry～人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業～』を掲げ、このスローガンの中心事業となる幸せな働き方改革の仕上げとなるSTEP4および5の完成と実行を着実に進めたい。全国の組合員企業がHappiness Companyを目指し、それが、Happy Industryへと繋がり、将来を担う若者たちが憧れ、夢を持つことのできる魅力的な産業を、全組合員企業と一緒に構築していきたい。

今回の地区協においても、各委員会事業の推進方法は、委員会ごとに『報告事項』『依頼事項』『協議事項』の3つの要点に絞ったレジメを用意しているが、今回は、これに加えて、『数値目標』を設定した。この後、行われる各委員会においては、この数値目標を理解いただき、来年行われる下期地区協までに、各地区協ならびに各工組が、数値目標を達成できるよう目標に向かって、各事業の推進に協力をいただきたい。

全印工連が行っている各種事業への各組合員の事業参加状況をまとめた『メリット一覧表』を工組ごとに作成したので、今後、組合脱退の防止や加入の働き掛けの説明材料として有効活用いただきたい。

前々回から地区協のレジメの作り方を変えて、全印工連が何を伝えたいのか、どういうことを協議していただきたいのか、どういうことを報告したいのかということにして作らせていただいている。達成目標をイ

メッセージしてもらいながら行っていかないと多分できない。ただ漫然と一方的に情報を伝えるだけであったものを、次の地区協との間、それなりの活動をしていただかなければならない。目標を設定してそれをイメージして結果につなげていくことに結び付けたい。全印工連として一番問題なのはいろいろな事業を行っているがなかなか伝わらない。ここにいる皆さんは直接、話ができるので理解いただいていると思うが、その先の先は何を行っているのか分からない。まず情報伝達をして事業の内容を理解していただいたうえで、やらないということであれば良いが、知らないでやっていない。地区協の役割は情報伝達をする組織でもあるので、そういったことを理解いただいて、皆さんの役目として地元に戻っていただきたい」と述べた。



池尻淳一
全印工連 専務理事

次に、池尻全印工連専務理事から、全印工連事業の概要について、「全印工連の令和元年度事業計画は、今年から来年にかけて大きなイベントがたくさんある。全印工連はこの機会を千載一遇のチャンスと捉え、積極的な体質強化を図っていくことが今年の一歩の目的である。特にこれまで中心となってきた『幸せな働き方改革』は、今、STEP3まで来たが、4と5を年内に完成させたい。対外活動は『大喜利印刷』がどうか軌道に乗ってきて第2期メンバーもあつという間に集まり、これを機に対外ピーアールを進めていき、今後印刷業界の基盤となる人材が集まるプラットフォームのようなかたちにしていきたい。委員会事業はこの後いろいろ議論をいただくが、特に今年は組合員だけが享受できるメリットをきちんと丁寧に説明していき、脱退の防止、会員の増強に努めていく。各委員会でも数値目標を掲げた。数値目標はノルマでなく、あくまでも1社でも多く事業内容を知っていただきたいという願いがある。そういう意味合いで数値目標を掲げた。情報が全国的に行き渡っていない状況があるのでこれを克服していきたいというのが数値目標の大きな狙いである。本年度は内部に関しては、さまざまな全印工連事業があるがそれを丁寧に組合員に説明することを目標として、少しでも組合員に入っていて良かったと思えるような動きをしていきたい。外部に対しては大喜利印刷を利用して対外ピーアールを強めて、業界の魅力を訴えて人が集まる印刷業界にしていくという2本建てで令和元年度は事業を進めていく。

第2回用紙動向調査の集計結果は、1月に実施した用紙動向調査は1,500社と多くの皆さんから協力をいただいた。この結果を受けて2月に開催された自民党の議員連盟の会合で用紙値上がりの対応を強く訴えた。その結果、3月に環境省から地方自治体に対して



再生紙が入手困難な場合には代替品の使用を認める文書の発出につながった。その後、様子を見てきたが、まだ現時点でも入手しづらい状況にあるとの声をいただいて今後の対策を講じることを目的に5月に第2回の調査を実施した。印刷用紙の値上げ要請への対応は、全国では値上げを受け入れた組合員が83.5%、北海道地区は33社で76.7%になった。値上げを受け入れた時期は全国では2月からが36.2%、3月からが28.3%、北海道地区は3月からが17社41.5%で一番多く、次が2月からの13社31.7%となっている。値上げ幅は全国では6～10%が544社41.6%、次が11～19%が512社39.1%と続いている。北海道地区では6～10%が23社54.8%と一番多く、次に11～19%が15社35.7%となっている。注文に対して紙が無い、揃わないという状況は全国では多少ある、時々ある、大いにあるの順番になっている。北海道地区でも多少あるが15社36.6%、時々あるが12社29.3%、大いにあるが9社22.0%という順で全国と同じような状況になっている。製品への価格転嫁は一部反映できているが全国では61.1%となっているが北海道地区は24社58.5%、交渉中だが反映できていないが全国では18.1%であるが北海道地区は14社24.4%になっている。ほぼ反映できているは全国と同じで14.6%に過ぎない結果で、一部は反映できているが完全にはできていないかたちになっている。官公需における再生紙の入手困難の対応は北海道地区は該当案件がないが50%、代替品の使用が認められたが36.8%と続いている。この調査結果に基づいて政治連盟において要望等対応策を講じていくので何か意見があれば全印工連まで一報をお願いしたい。

印刷営業講座・印刷営業技能審査認定制度は、下期地区印刷協議会で2地区から2年前に印刷営業講座をリニューアルして内容が良いので1社でも多く受講させたいのでピーアールビデオを作ってほしいと要望があり、教育研修委員会でビデオを作成し、ホームページに公開した。これまで見積りに多くの時間を割いて

いたが、マーケティング営業にシフトした。

全印工連特別ライセンスプログラム事業は、2010年にスタートし今年の12月で10年目を迎えることになる。現在7,600本の契約がある。今年の11月30日をもって7,600本すべてが契約の満了を迎え、来期から新しいかたちになる。そのため募集ピーアールビデオを作成した」と説明した。

つづいて、池田全印工連常務理事から、「幸せな働き方改革STEP3」について説明が行われた。（説明内容は次号掲載予定）

委員会

組織共済、経営革新マーケティング、教育研修、環境労務、青年部の5委員会に分かれ、それぞれの委員会のテーマに沿った報告事項、依頼事項、協議事項、数値目標について、情報提供、意見交換などが行われた。

総括会議

各委員会の討議内容について、各委員長から発表が行われ、それを受けて岸理事長が総括を行い、委員会事業の共有が行われた。

組織共済委員会 植平有治委員長



報告事項として、組合加入実績工組として宮城県工組が6社増、山梨県工組、京都府工組、佐賀県工組が1社増で表彰された。各種共済制度の加入状況を報告した。令和元年度共済

キャンペーン重点推進工組として16工組が指定されている。残念ながら北海道はなっていない。ただ原則は、指定になっている、なっていないに関係なく常にこれは行っていかなければならない。組合員台帳調査の結果は前回、北海道工組は71.8%であったが、今回は93.8%であった。更新したがあくまでも最終目標は100%である。

依頼事項として、令和元年度共済キャンペーンの推進では、期間が9月1日から3月31日までで、対象制度は生命共済・せつび共済・医療がん共済の3つになる。

協議事項として、組合加入促進について各社から意見を聞いた。組合員数が減っているのが現状である。それにどう歯止めをかけるか。それには組合に入っている価値を実現していくことが大事である。脱退したところに再度なぜ辞めたのかを膝を交えて話して脱退理由を明確にしていく。感情のもつれから辞めた人もいるし、いろいろな事情があると思う。倒産・廃業はしかたないが、もう一度組合に戻ってもらいたい組合の価値をしっかりと伝えるということで組合加入を進めていく。組合員に組合の価値がしっかりと伝わっていない。それを伝えてそのうえで駄目であったら仕方ない。それを伝えるのが第一である。支部長等会合に出ている人は分かっているが一般の組合員まで行き渡っていないのが現状である。それを解消して役員だけでなく一般の組合員からも組合加入の紹介をしてもらうのが良い。組合加入促進と共済加入は両輪である。保険会社と一緒に共済の価値を認識してもらおう。

数値目標として生命共済は加入率35%、組合員純増をマイナス3.5からゼロに近づけるであるが、その数値に捕らわれることなく、目標としてそれに近づけていく。

経営革新マーケティング委員会 岡部信吾委員長



報告事項として、5月31日に開催された全印工連経営革新マーケティング委員会の報告と事業について説明した。昨年度まで行っていた事業承継支援事業と経営イノベーション事業、マーケティング事業は変わらないが、今年もう1つ増えた事業が下請適正取引の研究で、経産省が作っている「印刷業のための下請適正取引ガイドライン」があり、これを受け手の中小印刷業側はどうしたら良

いかを委員会で作ることになった。経営イノベーション事業について新事業として印刷業界がどうしたらAIを活用していけるのかを検討していく。

依頼事項として、事業承継支援センターと事業承継ガイドブック、事業承継セミナーについて、セミナーは5月17日に北海道で開催した。セミナーの数値目標

北海道印刷工業組合 メールマガジン配信登録受付中

メールマガジンの配信希望は、北海道印刷工業組合のHPから申込受付を行っています。

[URL]

<http://www.print.or.jp>

が1回なので達成したことになるが、先般開催したのはパート1で事業承継セミナーパート2もあるので可能であれば開催したいと思っている。事業承継支援センターへの相談は北海道は未だゼロであるので再度各支部に周知・ガイドブックの購入を依頼した。共創ネットワーク通信の配信拡大と活用では知らない人もいたので登録と、今年からメーカー・ベンダーの情報も載せることになっているので活用を依頼した。勝ち残り合宿ゼミは昨年度は2月に行われ定員20人のところ締切前に定員になり、さらに追加が出た状況で大変好評である。今年度も詳細は未定であるが開催される予定になっているので参加を依頼した。

協議事項として、事業承継における課題で、相談件数がゼロで周知不足と反省していたが、自社の展望やビジョンを明確に持っていないところは相談できないという意見があった。

数値目標では、支援センターへの相談2件、セミナーの開催をもう1回出来ればと思う。

教育研修委員会 西山 真委員長



報告事項として、平成30年度DTP技能検定合格者数は北海道は受検者がいなかった。35歳未満の2級受検料は減額措置がある。動画配信コンテンツの充実は今まで経営者向けのコンテンツが多かったが今後は社員向けのコンテンツも作成する。

依頼事項は、組合員支援セミナーの周知をしていく。印刷営業講座、同技能審査認定試験の実施ではまだ北海道で開催されていないので開催に向けて検討していきたい。DTP検定取得のメリットの資料を作成したので活用してほしい。全印工連特別ライセンスプログラムは12月から新しいプランに変わる。価格は一番安く提供されるのとライセンス管理が可能になるのでコンプライアンス問題が解消される。今まではDTP用PC全台数という縛りがあったが新プランでは必要な本数となる。

協議事項として、全印工連特別ライセンスプログラ

ムの10%増の数値目標がある。北海道は現在80本であるので8本増になる。DTP技能検定受験者増について社員のモチベーション、作業の標準化を図るために利用してほしい。

環境労務委員会 大和繁樹委員長



報告事項として、時間外労働の上限規制は、中小企業は来年4月1日から施行される。残業が月45時間、年360時間となる。企業としては就業規則を含めて手直しをしなければならぬことがでてくる。違反には懲役6カ月以下または罰金30万円以下が課せられることになる。中災防の活用は専門家が無償で会社に来てアドバイスをしてくれるので活用してほしい。

依頼事項は、環境労務セミナーの周知・開催では今年1月に「知らなかったでは済まされない労働法と労基法改正セミナー」を第1弾として開催した。環境マネジメントシステムの認証・認定制度はGP、環境推進工場登録、ISO14001がある。環境推進工場登録講習は今年北海道で開催する。VOC警報器の普及拡大は工場の換気等の改善点も分かるので設置して従業員のためにも使ってほしい。

協議事項の環境マネジメントシステムの周知・啓発は、環境推進工場登録の取得の効果について報告できればと思う。

数値目標は、VOC警報器5台、GP認定2社、環境推進工場4社となっているが、推進工場は達成できた。

青年部委員会 矢吹英俊委員長



全青協の事業であるハイ・サービスを、今年は実践の取り組み行っていくことにしており、その途中報告を行った。10月19日に北海道青年印刷人フォーラムを行うのでそこでの発表に向けてかたちを作っていく。札幌・旭川・十勝でそれぞれ事例を持ち寄って発表することになっている。札幌では新店舗オープンキットを作ることで動い

ている。新店舗をオープンする時にいろいろな印刷物が出ると思うのでかたちとしてまとめていく。

各委員会の発表を受けて、岸理事長が所見を述べ総括した。

岸理事長

組織共済委員会は、共済のなかでせつび共済は非常にメリットがある。組合員が払っている賦課金と取り組まれた事業を金額換算してどれくらいの価値があるかをまとめたものを支部長に渡してあるが、そのなかで一番メリットがでるのがせつび共済である。そこに多く加入している組合員は支払っている賦課金よりもプラスになっている。もうひとつがアドビである。1年以上経っているのもう一度クリーニングして再度支部長に渡そうと思っている。知らなかったということであれば、今日知っていただき検討していただきたい。

経営革新マーケティング委員会は、事業承継支援センターは、事業承継は自社のなかでの承継は勿論であるが、例えば東京のチャンネルがほしいので東京の印刷会社と提携する、M&Aをする。こういうシステムがほしいのでM&Aをする。全く違う業態とM&Aをする。それでサービスラインを拡げる相談窓口になっている。守秘義務があるので外に漏れないようになっているので活用いただければと思う。

教育研修委員会は、印刷営業講座は今までは印刷積算講座のようであったが、今はマーケティングに大きく変っている。DTPの国家検定は、今年は北海道で開催できなかった。両方ともスキルの標準化になる。自分の会社の営業マンがどのくらいのスキルを持っているか、各社各様かも知れないが、例えば新規の営業をしてきなさい、提案営業をしなさいと言っても教育を

していなければできない訳がない。できれば営業部全員が標準化する。DTPも同じである。全員が標準化して作業ができれば時間の短縮になるし、担当が休んだらその人しかできないという状態にならないので、そういう対策を図る一つの手段となる。社員のモチベーションアップにもなる。DTPは1月末に開催されるが、印刷営業講座も開催していきたい。アドビは金銭的にもメリットがある。日本で一番安いライセンスである。これを使わない手はない。9月のHOPEでテクニカルセミナーを開催するので参加いただきメリット享受いただきたい。

環境労務委員会は、働き方改革法案が順次施行されていて、今年度は特に有給の消化5日間は義務化された。これは印刷業界に限った話ではない。監督署は印刷業界を狙っている。環境は遵守しないと製造業としてどうにもならない。いろいろなプログラムを組合として出しているので享受いただきたい。

青年部委員会は、10月にブロック協議会を開催する。次の世代を担う大切な委員会で大切な人材であると認識している。皆さんの会社の子息、若手を出していただき一緒に成長してほしい。

今年も9月6日(金)、7日(土)にHOPEを開催する。6日10:30から全印工連CMYKプロジェクトの大喜利印刷の取組の事例発表を行う。どういうものを作ったかを展示ブースを設営して見てもらう。7日10:30からデジタルトランスフォーメーションをテーマにICTの技術を使ってどのように世の中を変えていくかということを2人に話してもらう。2人とも印刷会社の人でないので、我々からするとお客さん側の方が印刷会社をどう見ているのか、どういう将来性があると思っているのかの話をするので、土曜日なので社員の方も一緒に聞いていただければと思う。是非HOPEに足を運んでほしい。

第32回北海道情報・印刷文化典札幌大会、 組合創立80周年記念事業を合同開催 令和2年5月29日/札幌パークホテル

令和元年度第3回理事会開催

令和元年度第3回理事会が、7月5日午後1時から札幌市中央区のガーデンシティ札幌駅前で、全道から理事10人が出席して開催され、第32回北海道情報・印刷文化典札幌大会と組合創立80周年記念事業を合同で、令和2年度通常総会と合わせ、来年5月29日に札幌パークホテルで開催することを決定した。

理

事は、岸理事長の開会あいさつに続き、定数報告が行われ、理事長を議長に議事に入った。

最初に、報告事項として、(1)事業実施状況について、北印工組・全印工連・関係団体に大別して、本年度のこれまでの事業実施状況・活動状況が報告された。

(2)財務状況について、6月末の貸借対照表、損益計算書、予決算対比表、賦課金納入状況が報告された。

次に、議事に移り、(1)令和元年度事業スケジュールについて、組織の拡大、広報活動の強化、未来を創る業界運動の展開、共済事業への加入促進、福利厚生事業の実施、組織・財政状況の検討、創立80周年記念誌編纂の準備、第32回北海道情報・印刷文化典札幌大会、創立80周年記念事業の準備を柱とした、それぞれの実施事業の内容、実施スケジュールを決定した。

(2)令和元年度上期北海道地区印刷協議会の運営について、スケジュール、全体会議・総括会議出席者、委員会別出席者、情報交流会出席者、会場配置について説明が行われ、承認された。

(3)令和元年度委員会体制について、委員会名簿が発表され、委員が未定の支部については早急に委員を決めてほしい旨の要請が行われ、承認された。

(4)組織・財政状況検討について、財政状況の健全化に向けて、組織のあり方を含め、財政のあり方を検討するための組織・財政状況検討委員会は理事会がその機能を担当することとし、原案を作成するために組織・財政検討プロジェクトチームを立ち上げることを決定し、プロジェクトチームのメンバー5人を選任した。

組織・財政検討プロジェクトチーム

- 岸 昌洋（理事長・札幌支部長）
- 植平有治（副理事長・旭川支部長）
- 角 高紀（理事・十勝支部長）
- 板倉 清（理事）
- 伊藤克義（専務理事）



(5)第32回北海道情報・印刷文化典札幌大会、組合創立80周年記念事業について、2020年が北海道情報・印刷文化典札幌大会の開催年であり、また組合創立80周年であることから記念行事を合同で開催することとし、開催日を令和2年度通常総会と同日とし、来年5月29日に札幌パークホテルで開催することを決定した。

以上で議事を終了し、つづいて、各支部の活動状況について支部長からそれぞれ報告が行われ理事会を閉会した。

第32回北海道情報・印刷文化典札幌大会 組合創立80周年記念事業

日程	令和2年5月29日(金)
会場	札幌パークホテル
スケジュール	13:00~14:20 令和2年度通常総会
	14:00~14:10 令和2年度第2回理事会（役員改選）
	14:30~15:30 第32回北海道情報・印刷文化典札幌大会記念式典 組合創立80周年記念式典
	15:45~17:15 第32回北海道情報・印刷文化典札幌大会記念講演 組合創立80周年記念講演
	17:30~19:30 第32回北海道情報・印刷文化典札幌大会記念パーティ 組合創立80周年記念パーティ

HOPE2019の開催にあたって

HOPE (HOKAKIDO PRINT EXPO) は、昨今の印刷産業の置かれている状況に呼応して、セミナーと展示会を組み合わせた学びと情報発信の場として、2016年から開催し、今回が第4回となります。

お蔭様で多くの方々から高い評価をいただいております。

今回が4回目となりますHOPE2019は、「Happy Industry～人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業」をテーマに開催いたします。

展示会は43社81小間のご出展、セミナーには12セッションのご出講をいただき、9月6日(金)・7日(土)の2日間、例年と同じく札幌市白石区のアクセスサッポロが会場となります。

ご出展ならびにご出講いただきました印刷・情報機器、資材メーカーならびに関係各位の皆様のご協力とご理解に心から厚くお礼申し上げます。

昨今の道内印刷業界を取り巻く環境は、景気回復は未だ実感できないなかで、社会・経済構造がIoT、AIなどの新しい技術を中心とした移行期にあり、既存需要の縮小・新規需要創造のための業態変革への転換点に対峙し、新しい発想・目線での経営が余儀なくされており、勝ち残っていくためには、新しい印刷産業へのリ・デザインが求められています。

そのためには、ハードとソフトの両方に着眼して、新しい目線で印刷産業を捉えていかなければなりません。

我々が、再定義を成し遂げ、社会の要求に応えるビジネスを推し進めるためには、自社の設備や技術を向上させることはもとより、同業者・関連業者・隣接異業種とのコラボレーションを積極的に展開することも勝ち残りのための方策の1つです。

加えて、先進事例、経営・技術環境の動向やユーザーの要望・印刷業界への見かたなどを学び、自社の指針を見出すことは勝ち残りのための絶対条件になることは自明の理です。

HOPE2019は、これらの要求に応える十分な情報発信と学びのプログラムを兼ね備えているものと自信を持っています。

新しいかたちの産業として発展を続ける印刷産業を、自身の目で確認するとともに、ユーザーの皆様や印刷産業に興味を持たれる若人にその姿を的確に伝えるため、広く声を掛け合って、「HOPE2019」にご来場され、展示会をご見学いただき、セミナーをご聴講くださいますよう切望し、開会のごあいさつといたします。

HOPE 実行委員会

会長 岸 昌洋



HOPE2019のご案内

出展43社81小間・セミナー12セッション

9月6日(金)・7日(土)／アクセスサッポロで開催

HOPE実行委員会（北海道印刷工業組合、北海道グラフィックコミュニケーションズ工業組合、北海道製本工業組合、北海道フォーム印刷工業会、北海道紙器段ボール箱工業組合）は、HOPE(HOKKAIDO PRINT EXPO)2019を開催する。

今、印刷関連業界は、取り巻く環境が様変わりし、未曾有の転換期にあり、勝ち残っていくためには、印刷産業へのリ・デザインが求められている。

そのためには、ハードとソフトの両方に着眼して、新しい目線で印刷産業を捉えなければならない。

「HOPE2019」は、この期待に応えるため、セミナーと展示会を組合わせた学びと情報発信の場として装いを新たに2016年から開催して、今年が4回目となる。

【主催】

HOPE実行委員会

北海道印刷工業組合

北海道グラフィックコミュニケーションズ工業組合

北海道製本工業組合

北海道フォーム印刷工業会

北海道紙器段ボール箱工業組合

【後援】

経済産業省北海道経済産業局

北海道

札幌市

北海道中小企業団体中央会

札幌商工会議所

北海道中小企業家同友会

【協賛】

(株)印刷出版研究所

(株)日本印刷新聞社

ニュープリンティング(株)

【会期】

令和元年9月6日(金)、7日(土)

10:00~17:00

【会場】

アクセスサッポロ（札幌市白石区流通センター4丁目3番55号）

展示会：Dホール

セミナー：小展示場／レセプションホール／研修室A

HOPE 2019
HOKKAIDO PRINT EXPO

展示会 × セミナー
12セッション

Happy Industry

人々の暮らしを彩り
幸せを創る印刷産業

とき **2019年9月6日(金)・7日(土)**
10:00~17:00

ところ **アクセスサッポロ** 札幌市白石区流通センター4丁目3番55号

●主催：HOPE実行委員会
北海道印刷工業組合・北海道グラフィックコミュニケーションズ工業組合・北海道製本工業組合・北海道フォーム印刷工業会
北海道紙器段ボール箱工業組合

●後援：経済産業省北海道経済産業局・北海道・札幌市・北海道中小企業団体中央会・札幌商工会議所・北海道中小企業家同友会

●協賛：印刷出版研究所・株日本印刷新聞社・ニュープリンティング(株)

【交通案内】

公共交通機関利用の場合は、地下鉄東西線「大谷地駅」またはJR函館本線「厚別駅」が最寄り駅になる。車で来場の場合は、無料駐車場が利用できる。

【展示会出展社】

43社、81小間

【展示会出展機器】

印刷機械、プリプレス機器、製本機器、情報機器、加工機械等総合印刷機器、各種ソフトウェア、印刷製品等

【セミナー】

パネルディスカッション・トークショー・出展社企画
セミナー 12セッション

パネルディスカッション

9月6日金

全印工連・CMYKプロジェクト

～「大喜利印刷」の目指すもの～

全日本印刷工業組合連合会 産業戦略デザイン室で組織された実験的クリエイティブユニット「CMYK」では、印刷業界を中小企業主導で盛り上げるべく、Twitter上にある“欲しい”のつぶやきをヒントに、印刷廃材を再利用してユニークな製品を開発するプロジェクト「大喜利印刷」を展開しています。

その目指すものとは何か？ どのような効果が生まれたのか？ 事業を立ち上げたメンバーが詳しく解説します。

- ◆ 日 時 : 令和元年9月6日(金) 10:30～12:00
- ◆ 会 場 : アクセスサッポロ 札幌市白石区流通センター4丁目3-55
- ◆ テー マ : 全印工連・CMYK プロジェクト～「大喜利印刷」の目指すもの～
- ◆ 受講申込 : 次のいずれかによりお申し込みください。
 - ①公式カイドブック折込の申込書に必要事項を記入の上、FAX (011-595-8072) へ送信する。
 - ②北海道印刷工業組合ホームページ (<http://www.print.or.jp>) から専用フォームにより申し込む。
- ◆ 申込期日 : 令和元年8月28日(火) (定員になり次第締め切ります)

座 長	滝澤光正 氏	CMYK プロジェクトメンバー 滝澤新聞印刷株式会社 代表取締役
	<p>1965年東京都にて出生、早稲田大学教育学部卒業。他業界で6年間の勤務を経て、1992年滝澤新聞印刷株式会社(東京都新宿区)入社、2005年より代表取締役。</p> <p>2012～2014年全印工連全国青年印刷人協議会議長。2012～2016年全印工連産業戦略デザイン室委員、「印刷道～ソリューションプロバイダーへの深化」「全印工連2025計画～新しい印刷産業へのリ・デザイン」の発刊に携わる。</p> <p>2016年2月東京にて開催された「PrintNext2016」において運営委員長を務める。</p> <p>現在、全日本印刷工業組合連合会副会長、全印工連産業戦略デザイン室委員長、東京都印刷工業組合副理事長。</p>	

フ ァ シ リ テ ー タ ー	出村光世 氏	CMYK プロジェクトメンバー Konel プロデューサー/代表取締役
	<p>1985年金沢生まれ。</p> <p>2011年、アクセンチュアに所属時にKonelを創業。事業企画やシステム開発に従事しながら、クリエイティブ事業を開始。</p> <p>日本橋・金沢・ベトナムを拠点とし、アート/プロダクト/マーケティングなど領域に縛られずに様々なプロジェクトを推進。</p> <p>Tokyu Agencyにて広告プロデューサーとしての兼業経歴を持つ。</p> <p>One Show/D&AD/ACC等、国内外のアワードを受賞。</p>	

パ ネ リ ス ト	瀬田章弘 氏	CMYK プロジェクトメンバー 弘和印刷株式会社 代表取締役
	<p>1966年 東京生まれ</p> <p>1989年 中央大学商学部会計学科卒</p> <p>1989年 現ハイデルベルグ・ジャパン株式会社入社</p> <p>1993年 家業である弘和印刷株式会社入社</p> <p>1999年 クリエイティブプロダクション株式会社アイズを設立</p> <p>2004年 弘和印刷(株) 代表取締役に就任</p> <p>2006～2007年 全国青年印刷人協議会副議長</p> <p>2012～2016年 全日本印刷工業組合連合会 常務理事 経営革新マーケティング委員長 同産業戦略デザイン室副委員長</p> <p>2016年～ 同参与、産業戦略デザイン室委員 (2018年～副委員長) 東京都印刷工業組合総代・理事・足立支部長</p>	

パ ネ リ ス ト	篠原慶丞 氏	CMYK プロジェクトメンバー 有限会社篠原紙工 代表取締役 印刷加工連 代表 Factory 4F 代表
	<p>有限会社篠原紙工の社長として社を束ねると同時に、バイディングディレクターとして本の内容やコンセプトに応じた仕様を提案しながら新たな造本を考案してきた実績から沢山のブックデザイナーから高い信頼を得ており、2018年造本装幀コンクールでは文部科学大臣賞、経済産業大臣賞の両賞を受賞した。</p> <p>6社で結成した紙のステーションリーブランド「印刷加工連」の代表、業界内外に紙・印刷・製本のことを発信するプロジェクト「Factory 4F」の代表を務め、日々精力的な活動を展開している。</p>	

主 催 : HOPE 実行委員会

(北海道印刷工業組合、北海道グラフィックコミュニケーションズ工業組合、北海道製本工業組合、北海道フォーム印刷工業会、北海道紙器段ボール箱工業組合)

後 援 : 経済産業省北海道経済産業局、北海道、札幌市、北海道中小企業団体中央会、札幌商工会議所、北海道中小企業家同友会

セミナー／第1日 [受講料無料：申込は<http://www.print.or.jp>からできます]

9月6日金

[会場] A：小展示場 B：レセプションホール C：研修室A

時間	会場	セミナー番号	主催会社	テーマ	講師
10:30 ～ 12:00	A	パネルディスカッション	HOPE実行委員会	全印工連・CMYKプロジェクト ～「大喜利印刷」の目指すもの～	CMYKプロジェクトメンバー [座長] 滝澤新聞印刷株式会社 代表取締役 滝澤光正氏 [ファシリテーター] Konel プロデューサー・代表取締役 出村光世氏 [パネリスト] 弘和印刷株式会社 代表取締役 瀬田章弘氏 有限会社篠原紙工 代表取締役 篠原慶丞氏
					ディスカッション 内容
13:00 ～ 14:30	A	①	富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ(株)	利益を生む! ITを駆使してオフセット印刷とデジタル印刷を最大活用するには	富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社 ワークフロー営業部 部長 佐々木健至氏 富士ゼロックス株式会社 GSC事業本部 事業企画管理部 事業推進グループ 市場開発チーム マネージャー 荻野賢氏
				講演内容	デジタル印刷機の普及が進み、単に機器の特長を訴求するだけでは受注の獲得が難しくなっています。本セミナーでは、ITの活用により、オフセット印刷とデジタル印刷の特性を活かした新規ジョブ獲得の仕組み作りおよび製造工程の見える化と効率化を実現するワークフローについてご紹介させていただきます。
	B	②	リコージャパン(株)	『断られない!営業の心得』 ～営業成績を上げ続ける小さなコツ～	Sorriso (ソリーゾ) 代表 戸谷有里子氏
				講演内容	営業をしていて嫌なことの1つが、「お客様に断られる」ということなのでしょう。嫌なことと戦ってばかりいるといつか疲弊してしまいます。今回の講座でお伝えするのは、お取引したい企業様とお取引できるようになるためのちょっとした心得や、アプローチ方法です。今日からでも使える手法を具体的な内容にお伝えいたします。等身大のあなたが、今よりもっと楽しく、結果につながる好循環のサイクルに入るポイントを手に入れましょう!
15:00 ～ 16:30	C	③	(株)小森コーポレーション	水をしぼると 7つのいいことが起こる!?	株式会社小森コーポレーション大阪支社 業務課 KPMコンサルタント 川名茂樹氏
				講演内容	「水を制する者はオフセット印刷を制す」と言われるように、水をしぼると品質が良くなることは常識です。では、何が良くなるのか、どうして良くなるのか、説明できますか。「水をギリギリまでしぼっている」と言う機長さん、しかし水・ローラー・機械がベストな状態でなければ実際はしぼれませんよ。そのポイントは何でしょうか。一流を目指すなら見逃さないセミナーです。
15:00 ～ 16:30	A	④	(株)SCREEN GPジャパン	SCREENが推進する スマートファクトリー	株式会社SCREEN GPジャパン 営業本部 B.I統轄部 ICT推進部 部長 山岡拓也氏 営業本部 B.I統轄部 ICT推進部 副部長 中村 聡氏
				講演内容	スマートファクトリー化が推奨される一方、マルチベンダー環境での生産現場を繋げるには計画的な工程連携が必要です。セミナーでは、「Think Big, Start Small」をコンセプトにビジネス拡大を狙う最新のフロントソリューションやデジタル印刷事例、自動化を狙う「EQUIOS」での4つの連携事例、刷版工程の負荷を低減するCTP後加工自動化システム、CMSのアウトソーシングを狙う新しいサポート商品などをご紹介します。最新ソリューションの中に、是非ビジネスのヒントを見つけてください。
	B	⑤	ハイデル・フォーラム21 北海道地区会	永続的な企業発展のための戦略と 事業再生 ～逆境にも負けない、強い会社・組織づくり～	株式会社ウエマツ 代表取締役社長 福田浩志氏
				講演内容	印刷業界を取り巻く環境は相変わらず厳しいものがあります。価格競争、コスト高騰、後継者問題、人材不足など、このような厳しい経営環境下でも生き残っていくためには筋肉質で強い製造現場を持つ会社に体質を強化する必要があります。今回のセミナーでは、顧客から常に選ばれ続けるために変革への挑戦を続けている株式会社ウエマツ 福田浩志氏に、企業戦略と事業再生について自社の成果や展望を交え、強い会社・組織づくりについてご講演いただきます。
	C	⑥	コニカミノルタジャパン(株)	収益性アップのためのデジタル印刷 工程における究極の自動化と省力化 とは? ～事業拡大のための真の働き方改革とは～	コニカミノルタジャパン株式会社 プロダクション事業統括部 商品戦略部 部長 小山直仁氏
				講演内容	多品種・少量生産・短納期および消費者の個人ニーズに合わせた印刷物が増加する中で効率化・生産性向上が求められていますが、一方で政府主導による「働き方改革」も重要な経営課題の一つとして認識され始めており、更なる自動化や省力化によるコストダウンの実現が可能な様々なシステムやソリューションの活用要望も多くなりました。今回はそのようなソリューション群を活用事例を含めてご紹介いたします。

トークショー

9月7日

『デジタルトランスフォーメーションで ブランドが変わる、ビジネスが変わる。』 ～ 印刷メディア・印刷サービスが受け入れる変化と進む方向性は？ ～

社会全体の仕組みや価値観が、デジタルが“デキル”ことによって大きく・急速に変わり始め、イノベティブなマーケターはデジタルとフィジカルなメディアを掛け合わせるチャレンジで成果を出し始めています。

印刷周辺技術も大きく進化している中、印刷メディアのプロは未来に向かってどのようなサービスを提供すべきなのだろうか？

本セッションでは、今、マーケティングの世界で何が起り始めているのか？ 印刷メディアとサービスがこの動きをどのように支援し、新たな価値創出を実現するべきか？ を実例を含め議論します。

- ◆ 日 時 : 令和元年9月7日 10:30～12:00
- ◆ 会 場 : アクセスサッポロ 札幌市白石区流通センター4丁目3-55
- ◆ テーマ : 『デジタルトランスフォーメーションでブランドが変わる、ビジネスが変わる。』
～ 印刷メディア・印刷サービスが受け入れる変化と進む方向性は？ ～
- ◆ 受講申込 : 次のいずれかによりお申し込みください。
①公式カイドブック折込の申込書に必要事項を記入の上、FAX (011-595-8072) へ送信する。
②北海道印刷工業組合ホームページ (<http://www.print.or.jp>) から専用フォームにより申し込む。
- ◆ 申込期日 : 令和元年8月28日(定員になり次第締め切ります)

スピーカー	岡本幸憲 氏	株式会社グーフ 代表取締役	
<p>2012年、『すべてのITと連携する紙』『紙媒体のアプリケーション化』をテーマにプルキャスト（現グーフ）を共同設立。Web To Print及びデジタル印刷テクノロジーを活用した事業やサービスの企画・デザイン・プロジェクトマネジメントを担当。印刷テクノロジーの進化と共に実現が可能となるダイナミックな企画で、データドリブンな時代だからこそ生きる紙・印刷を追求し続ける。</p>			

スピーカー	本間 充 氏	アウトブレインジャパン株式会社 顧問 アビームコンサルティング株式会社 顧問 事業構想大学院大学 客員教授	
<p>1992年大手消費財メーカーに入社。以後、Webエンジニア、デジタル・マーケティング、マーケティングを経験。2015年に、アビームコンサルティング株式会社に入社。多くの企業のマーケティングのデジタル化を支援している。他にも、ビジネスブレークスルー大学でのマーケティングの講師、東京大学大学院数理科学研究科客員教授（数学）、文部科学省数学イノベーション委員なども務め、産業・科学の両発展に貢献している。</p>			

主催 : HOPE 実行委員会

(北海道印刷工業組合、北海道グラフィックコミュニケーションズ工業組合、北海道製本工業組合、北海道フォーム印刷工業会、北海道紙器段ボール箱工業組合)

後援 : 経済産業省北海道経済産業局、北海道、札幌市、北海道中小企業団体中央会、札幌商工会議所、北海道中小企業家同友会

セミナー／第2日 [受講料無料：申込は<http://www.print.or.jp>からできます]

9月7日

[会場] A：小展示場 B：レセプションホール C：研修室A

時間	会場	セミナー番号	主催会社	テーマ	講師
10:30 ～ 12:00	A	トークショー	HOPE実行委員会	デジタルトランスフォーメーションでブランドが変わる、ビジネスが変わる。 ～印刷メディア・印刷サービスが受け入れる変化と進む方向性は？～	[スピーカー] 株式会社グーフ 代表取締役 岡本幸憲氏 アウトブレインジャパン株式会社 顧問 本間 充氏
		トーク内容			社会全体の仕組みや価値観が、デジタルが“デキル”ことによって大きく・急速に変わり始め、イノベティブなマーケターはデジタルとフィジカルなメディアを掛け合わせるチャレンジで成果を出し始めています。印刷周辺技術も大きく進化している中、印刷メディアのプロは未来に向かってどのようなサービスを提供すべきなのだろうか？本セッションでは、今、マーケティングの世界で何が起り始めているのか？印刷メディアとサービスがこの動きをどのように支え、新たな価値創出を実現すべきか？を実例を含め議論します。
13:00 ～ 14:30	A	⑦	リコージャパン(株)	①見逃しているなんてモッタイナイ!!! Illustratorでの作業の効率アップに直結するパス、ベジェ曲線 ②インバウンド向け制作物のための多言語とフォントの基本	株式会社スイッチ 代表取締役 Adobe Community Evangelist 鷹野雅弘氏
		講演内容			●パスの扱いはIllustratorの基本であり、制作作業の根幹です。ベシクすぎて見過ごしがちですが、パスのコントロールには、たくさんの機能強化が行われています。さらに、少し踏み込んだパスファインダーの使い方など、すぐに役立つ使い方をデモを中心に紹介します。 ●オリンピックを目前にインバウンド向け制作物の需要が増えています。インバウンド向け制作物のための言語とフォントの基本や、macOSやWindowsでそれぞれの言語を入力する方法、翻訳などの基本について解説します。
	B	⑧	富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ(株)	ワイドフォーマットインクジェットプリンターの可能性 ～大判インクジェット印刷のインテリア市場における革命～ (過去・現在そして未来に向けて)	リンテックサインシステム株式会社 代表取締役社長 小島一仁氏
		講演内容			「大判インクジェットプリンター」は軽印刷から屋内外のサイン・ディスプレイ用途へ展開し、今やインテリアの世界にまで急拡大しています。リンテック(株)は2000年に世界で初めてデジタルプリント壁紙を開発しました。その開発者である小島一仁氏が提案する大判インクジェットプリンターの今後の可能性！新分野への事業拡大のヒントになるでしょう。
	C	⑨	(株)モリサワ	2020に向けた情報アクセシビリティの向上	株式会社モリサワ 公共ビジネス課 仁田野良介氏
		講演内容			「伝える」から「伝わる」へ。情報をより分かりやすくより届けやすくすること、それが情報アクセシビリティの向上です。そのためには、発信する情報に対してもユニバーサルデザインの考え方を取り入れることが大切です。情報発信の業界に携わるフォントメーカーとしてその取組をお話しさせていただきます。
15:00 ～ 16:30	B	⑩	北海道印刷工業組合	アドビテクニカルセミナー 2019夏の陣 クラウド・AI時代のDTPスキル	アドビシステムズ株式会社 デザイナー 近藤祐爾氏
		講演内容			クラウドサービスやAI(人工知能)など次世代技術の活用が徐々に浸透しつつあります。一方で、日本のDTP環境はこれまでの慣習や商習慣を引きずったままの状態が多いのが現状で、徐々に先細りしつつあります。クラウド・AI時代で生き残るためには、顧客のニーズに合致したビジネス上の取組がこれまで以上に重要になります。クラウド・AI時代に求められる技術力、人材とはどういったものかを、DTP技術・スキルを軸として解き明かしていきます。

事務局

展示会 会場案内図

受付



出入口

<p>CMYK プロジェクト 「大吉利印刷」</p>	<p>富士フィルムグローバル グラフィックシステムズ(株) 富士ゼロックス北海道(株) (株)ムサシ</p>	<p>リコージャパン(株)</p>	<p>コニカミノルタジャパン(株)</p>				
<p>キヤノンマーケティングジャパン(株)</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="483 696 628 922"> <p>アコ・プランズ・ ジャパン(株)</p> </td> <td data-bbox="628 696 772 922"> <p>(株)モリサワ</p> </td> </tr> </table>	<p>アコ・プランズ・ ジャパン(株)</p>	<p>(株)モリサワ</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="839 808 984 922"> <p>(株)山櫻</p> </td> <td data-bbox="984 808 1128 922"> <p>(株)サンクレエ</p> </td> </tr> </table>	<p>(株)山櫻</p>	<p>(株)サンクレエ</p>	<p>キヤノンマーケティング ジャパン(株) (株)T.O.O. (株)沖データ</p>
<p>アコ・プランズ・ ジャパン(株)</p>	<p>(株)モリサワ</p>						
<p>(株)山櫻</p>	<p>(株)サンクレエ</p>						
<p>ホリゾン・ジャパン(株)</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="483 922 628 1261"> <p>理想科学工業(株)</p> </td> <td data-bbox="628 922 772 1261"> <p>(株)フカミヤ</p> </td> </tr> </table>	<p>理想科学工業(株)</p>	<p>(株)フカミヤ</p>	<p>(株)光文堂 (株)グラフィックサポート グラフテック(株) 東京ラミネックス(株) (株)ニクニ</p>	<p>デュプロ万博(株)</p>		
<p>理想科学工業(株)</p>	<p>(株)フカミヤ</p>						
<p>(株)ミマキ エンジニアリング</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="483 1375 628 1601"> <p>(株)工藤 鉄工所</p> </td> <td data-bbox="628 1375 772 1601"> <p>(株)勝田製作所</p> </td> </tr> </table>	<p>(株)工藤 鉄工所</p>	<p>(株)勝田製作所</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="839 1375 984 1713"> <p>共同印刷機材(株)</p> </td> <td data-bbox="984 1375 1128 1713"> <p>三菱製紙(株) ダイヤミック(株)</p> </td> </tr> </table>	<p>共同印刷機材(株)</p>	<p>三菱製紙(株) ダイヤミック(株)</p>	<p>(株)SCREEN GPジャパン</p>
<p>(株)工藤 鉄工所</p>	<p>(株)勝田製作所</p>						
<p>共同印刷機材(株)</p>	<p>三菱製紙(株) ダイヤミック(株)</p>						
<p>ピーエス(株)</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="483 1601 628 1827"> <p>イトー テック(株)</p> </td> <td data-bbox="628 1601 772 1827"> <p>IST East Asia(株)</p> </td> </tr> </table>	<p>イトー テック(株)</p>	<p>IST East Asia(株)</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="839 1713 984 1942"> <p>(株)永井機械製作所</p> </td> <td data-bbox="984 1713 1128 1942"> <p>(株)竹尾</p> </td> </tr> </table>	<p>(株)永井機械製作所</p>	<p>(株)竹尾</p>	<p>岩崎 通信機(株)</p>
<p>イトー テック(株)</p>	<p>IST East Asia(株)</p>						
<p>(株)永井機械製作所</p>	<p>(株)竹尾</p>						
<p>北海道立 札幌高等 技術専門学院</p>	<p>リョービMHI グラフィックテクノロジー(株)</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="839 1942 984 2056"> <p>(株)ウチダ テクノ</p> </td> <td data-bbox="984 1942 1128 2056"> <p>(株)ヨシダ機材</p> </td> </tr> </table>	<p>(株)ウチダ テクノ</p>	<p>(株)ヨシダ機材</p>	<p>和幸商事(株)</p>		
<p>(株)ウチダ テクノ</p>	<p>(株)ヨシダ機材</p>						
			<p>(株)シーズ</p>				
			<p>(株)オンデオマ</p>				
			<p>リマーージュ ジャパン(株)</p>				

HOPE2019 出展一覧

IST East Asia(株)

MBS LANPcure HotSwapシステム
PincureZ
SZ LEDcure
MZ LEDcure

アコ・プランズ・ジャパン(株)

オートラミネーター6200S PLUS
デスクトップラミネーターH355 A3
オートフィードラミネーターFOTON30
オートフィードラミネーターF350D

イトーテック(株)

断裁機eRc-115DX

岩崎通信機(株)

マルチカードスリッターきりっ子MC-22T Plus
FREE TAPER 1000N2
フリクションフィーダー アストロFF14

(株)ウチダテクノ

アエロカット ナノプラス
帯掛機WX-P
カウントロンX
フオイルグレザー

(株)沖データ

高速プロフェッショナルLEDプリンタMICROLINE VINCI C941dn
ラベルプリンタ Pro1050
箔押し加工機DC-2

(株)オンデオマ

Web名刺受発注システム

(株)勝田製作所

断裁機SH430HOW JMC-7

キヤノンマーケティングジャパン(株)

カラーオンデマンドプリンターimagePRESS C910
カラーオンデマンドプリンターimagePRESS C65
印刷検査システムDR-G2140 IDC-476
ネットワークカメラ映像ソリューション
DreamLabo出力サンプル
印刷設定自動化ワークフローPPFM

共同印刷機材(株)

商談コーナー

(株)工藤鉄工所

紙揃機クドエース1000MJ型
オートリフター ラ・クーンAL-9

(株)グラフィックサポート

XEROX C5150d
Card inpact055
Presious NAS



昨年のHOPE2018の様子

グラフテック(株)

LABEL ROBO

(株)光文堂

デジタルコーティングシステムKBDきらり
KBD V-color
KBD ID-FX
KBDスピンミキサー
KBDマルチテーピングシステム

コニカミノルタジャパン(株)

AccurioPress_C3080

(株)サンクレエ

印刷・包装商材向販売管理システムHIGUMA

CMYKプロジェクト「大喜利印刷」

プロダクト展示

(株)シーズ

印刷通販パッケージ

(株)SCREEN GPジャパン

EQUIOS/Online

ダイヤミック(株)・三菱製紙(株)

三菱製紙サーマルプレートセッターMADIATH
三菱製紙サーマルデジプレートシステムTDP-459II
三菱製紙プロジェクター用スクリーンフィルム彩美
エプソンガーメントプリンタSC-F2150
ガーメントプリンタ用ヒートプレス機

(株)竹尾

商品展示

デュプロ万博(株)

DMコレクターDM230ST
カッタークリーサDC-646
アドレスプリンターDIJ-A80
メールシーラーEX-415DMC
紙折機DF-999
高速カラーインクジェットプリンターLX-10000F

(株)Too

PDF校正ソフト Proof Checker PRO
 パッケージデザイン向け文字検版支援ソフトウェア「フォルトファインダー プロ」
 検査・検版システム「Hallmarkerシリーズ」
 Office新旧比較校正システム「新旧文書」
 制作・プリプレスワークフロー自動化/設計・運用ソリューション SWITCH
 PDFワークフロー PitStop Pro

東京ラミネックス(株)

TORAMI ZD
 TOLAMI SDX400
 TORAMI TAF-400S

(株)永井機械製作所

断裁機

(株)ニクニ

エパークリーンECQ503

ピーエス(株)

一流体加湿システム モノフォグ
 遠心式加湿器ABS3
 電気ヒータPSHR(E)
 附属設備

(株)フカミヤ

DocuColor7171P
 DocuColor7171P(Model-ST)
 PX710PrintServer2
 FreeFlow Core
 eXact Auto Scan PC

富士ゼロックス北海道(株)

カラー・オンデマンド・パブリッシング・システムVersant180
 GX PrintServer for Versant180Press
 Produkt'on cockpit
 Kintone

富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ(株)

次世代ハイブリッドワークフローXMF

北海道立札幌高等技術専門学院

電子印刷科紹介

ホリゾン・ジャパン(株)

紙折機AFC-566FKT
 プレスPST-44

丁合機VAC-2000
 中綴機SPF-200Aライン
 天地断裁機TBC-200L
 製本機BQ-P80
 除電ジョガPJ-200

(株)ミマキエンジニアリング

プリンターUFJ-6042MKII
 プリンターCFL-605RT

(株)ムサシ

レーザーカッターC1802
 ラミネーターDC-20
 名刺プリンターMP300-Duo

(株)モリサワ

多言語対応電子配信ツールMC Catalog+
 高品質可変バリエーション印刷ソフトMVP Ver.7
 ユニバーサルデザインフォント
 年間フォントライセンスMORISAWA PASSPORT

(株)山櫻

封筒対応高速インクジェットプリンターYJ10000
 小さサイズ・名刺・はがきプリンター CARDMATE Digica Rev.6

(株)ヨシダ機材

商談コーナー

リコー・ジャパン(株)

カラーオンデマンドプリンターRICOH ProC9200
 Ri100

理想科学工業(株)

ORPHIS GD9630ORメーリングフィニシャーII
 ORPHIS GD9630GDオフセットステープル排紙トレイ
 RISOGRAPH MF935W
 RISOGRAPH SE939

リマージュ・ジャパン(株)

Rimage Catalyst6000N
 Rimage Allegro100
 Rimage Allegro20

リョービMHIグラフィックテクノロジー(株)

A3縦通しオフセット印刷機RMGT340CR-1

和幸商事(株)

商品展示



昨年のHOPE2018の様子



昨年のHOPE2018の様子